

いさはや 日赤だより

広報誌

2020

第19号

7



<令和2年4月 新規採用正職員・異動者と幹部職員との記念撮影>



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

医局
特集

新型コロナウイルス感染症 これまでにわかっていること

「禁食0を目指して」講演会の開催レポート … 07-08

特定行為看護師についてのご紹介 …… 09



日本赤十字社 長崎原爆諫早病院
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

ご挨拶



院長 福島喜代康

この度、令和2年4月1日より前任の古河隆二先生の後任として院長に就任しました。

当院では内科単独の診療体制のもとに、総合健診（人間ドック）で生活習慣病などの早期発見を行い、一般病床（急性期病床）と地域包括病床では、内科系診療の急性期と回復期の患者さんの診療、治療を行っています。在宅医療では、訪問看護ステーションによる訪問看護および訪問診療も行っており、在宅医療や在宅療養に不安を感じているかたがたの支援を行っています。また、高血圧、糖尿病などの生活習慣病の増加に伴い注目されている睡眠時無呼吸症候群（SAS）の確定診断をコードレス終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）検査を年間約300件施行しています。SASと診断され鼻マスク陽圧呼吸（CPAP）治療の導入後に在宅CPAP治療の経過が良好な場合、CPAP遠隔モニタリング診療も行っております。

さて、現在最も話題となっているのは、令和元年（2019年）12月より中国武漢に端を発した世界的大流行（パンデミック）となった“新型コロナウイルス感染症（COVID-19）”です。COVID-19の日本の初発例が令和2年1月16日に報告されました。当院はCOVID-19の指定医療機関ではないため、新型コロナウイルス感染者の入院施設にはなっていません。しかし、3月11日より「帰国者・接触者外来（発熱外来）」を設置しました。また、インフルエンザウイルス、マイコプラズマなどのPCR検査は2012年より院内で施行しておりましたが、今回、3月23日より新型コロナウイルスのPCR検査も行っています。

長崎県では3月14日に1例目が報告されました。4月7日に政府から「緊急事態宣言」が発令され、クラスター（集団感染）の発生と感染の連鎖を止めるため三密（密閉、密集、密接）を避け、不要不急の外出の自粛が求められました。その後、5月25日に「緊急事態宣言が解除」され、少し安心しておりました。しかし、7月初旬頃より東京、神奈川、北海道などでのCOVID-19が再び若い年齢層に増加してきています。三密を避けて、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗い、換気に注意して“新しい生活様式”に切り替えることにより、新型コロナウイルスの接触感染、飛沫感染に対する感染予防対策を徹底し、この危機を乗り越えたいと思います。

これからも予防医学、診療・看護、在宅医療などにおいて皆様に“心のこもった良質な医療”を提供するために医療連携を密にして、皆様に信頼される病院として職員一同努力していきたいと思っています。

今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

事務部長

さん だ
三田

とおる
徹

今年の3月末に長崎県庁を退職し、4月から当院で勤務しております事務部長の三田と申します。

県庁では主に管理部門が長く、医療分野では短い期間でしたが離島医師の確保対策や看護師確保対策、地域医療構想の策定等に携わりました。ただ、医療現場は全くの初めてですので、毎日、スタッフの皆さんに教えていただくことばかりです。

今年は新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響で、趣味としているマラソンについては出場予定だった五島列島夕やけマラソンや長崎平和マラソンが中止になったほか、メインの趣味である登山についても県外はもとより県内の山行の自粛を余儀なくされるなど、私生活ではモチベーションがあがらない状況が続いておりましたが、緊急事態宣言や県域を越えた移動制限が解除され、徐々に活動を再開できるようになりほっとしているところです。第2波、第3波が気になりますが気力体力を充実させて、業務に励んでいきたいと思っております。

当院は日本赤十字社の「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、「心のこもった、良質な医療の提供」を理念として掲げております。

その実現のためには、スタッフ一人ひとりの意識・行動が大切であることはもちろんのこと、社会全体として働き方改革が推進される中で、スタッフの皆さんの働きやすい環境づくりに目を配っていくことも一層重要となってまいります。

新型コロナは三密を避けなければなりません、情報共有は密にしてみてもしすぎることはありません。スタッフの皆さん、地域の皆さんと情報を共有し連携しながら、地域から選ばれ頼りにされる病院となるよう事務方として支えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ご挨拶

看護副部長

しら き
白木

なお み
直美

令和2年4月1日付で看護副部長兼外来看護師長・健診部健診課長を拝命いたしました白木直美と申します。

私は、日本赤十字社長崎原爆病院で30年以上勤務し、日本赤十字の事業を担う日本赤十字長崎県支部の講習事業にも従事するなど、日赤一筋で働いてまいりました。私は、患者さんが安心して質の高い医療を受けられるように、また心のこもった看護を目指し、日々努力して参りました。病院事業だけではなく赤十字事業に携

わる中で、「赤十字」にご尽力下さる崇高な志をお持ちのボランティアの方々に支えられていることを実感してきました。微力ではありますが、健康生活支援講習や救急法等の指導員の資格を活かし、講習事業を通して少しでも地域の方々へ恩返しができればと思っております。

また、わが国では超高齢社会を迎え、地域包括ケアシステムの推進が図られている中、この諫早地区で一般急性期から地域包括ケア病床を含む医療を提供している当院の役割はとても重要です。急性期から在宅医療へ繋ぐ看護師の役割は多様化、高度化しております。「日赤の看護師さんは良かった」と言っていただけのように、これからの厳しい時代を支える若い看護師を支援し、一緒に精進していきたいと思っております。また、新型コロナウイルス感染症への不安が続く中、患者さんが安心して来院できるような環境づくりに努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新

規

職

員

紹

介

今年のフレッシュな皆さんを紹介します！



呼吸器科

赤城 和優

2020年4月より当院へ赴任致しました、呼吸器科 赤城和優と申します。

出身は長崎大学病院、専門は肺癌を含めた胸部腫瘍です。火曜日に新患外来・旧患外来、金曜日に旧患外来を担当致します。肺癌の他にも呼吸器科・内科一般についても真摯な医療に努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

呼吸器科

宮下 律子

4月より当院へ赴任いたしました、呼吸器科 宮下律子です。こちらに赴任する前は長崎大学病院に勤務しておりました。スタッフの皆様の力を借りながら、患者様一人一人と向き合った診療に努めて参ります。至らない点もあるかと思いますが、諫早の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



4階病棟

山口 英恵

4階病棟配属になりました山口英恵です。

日々患者さんやご家族・スタッフとコミュニケーションをはかりながら働いています。

新しい分野での学びや発見がたくさんあり、日々自己研鑽しながら看護師としてのスキルを磨いていきたいと思ひます。

休みの日には、2人の子供と遊びながらストレス発散をしています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。





3階病棟

中野 巧一

2020年4月より3階病棟に配属となりました看護師の中野巧一です。
 地元であるこの諫早で、地域の人たちの為に看護師として働くことが出来ることを本当に嬉しく思っています。
 私自身まだまだ未熟で、日々の病棟業務においては師長はじめ係長、先輩看護師の皆さんに支えてもらっています。一日でも早く一人前の看護師になれるように、日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。



5階病棟

中村 喜佳

5階病棟配属となりました中村喜佳と申します。4月から新人看護師としてスタートし、先輩方の温かく丁寧なご指導を受けながら、日々、看護の技術や知識を学んでいます。病棟での実践や研修の一つ一つの学びを大切にしながら、一日でも早く成長できるよう、努力していきたいと思います。常に笑顔で患者様に向き合い、患者様、ご家族の思いに寄り添った看護が提供できるよう、頑張っていきたいです。よろしくお願いします！



3階病棟

濱出 直哉

3階病棟配属となりました濱出直哉です。大学は県外ですが、生まれも育ちも長崎です。身体を動かすことが大好きで、小学校からサッカーを始め、現在も社会人チームに入りサッカーを続けています。病棟での業務が始まり、先輩看護師の指導のもと、いろんな経験を積むことができ、充実した毎日を過ごすことができています。まだまだ分からないことも多いですが、毎日の経験や多職種とのつながりを大切にしながら成長していけるよう頑張ります。よろしくお願いします。



4階病棟

山岡 栞

4階病棟に配属になりました山岡栞です。4月から新人看護師として新たなスタートを迎えました。新人看護師として勤務するなかで、看護の技術や知識など新たな学びや発見がたくさんあり、充実した毎日を過ごしています。初めての事が多く、分からないことばかりですが、先輩方からの優しく丁寧な指導の元、日々学びを深めています。患者さまが安心して入院生活を送ることができるよう、患者さまの気持に寄り添い、看護を提供できるよう日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。



医局 特集

新型コロナウイルス感染症

これまでにわかってきていること



内科部長 近藤 晃（呼吸器内科）

2019年11月に中国武漢市で報告された新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）は、その後全世界に拡大し、2020年6月末で世界全体の感染者数は約1000万人、死亡者は約50万人と報告されています。本邦においても、3月下旬から4月上旬をピークとして感染者が増加し、同じく2020年6月末で感染者数は2万人弱、死亡者は1000人弱と報告されています（図1）。長崎県においても、他地域と比較すると規模は大きくなかったものの、小規模な感染流行および、クルーズ船での集団感染事例を認めました。

長崎県の発表では、県央・諫早地区においてのCOVID-19陽性者は4月1日に報告された1名のみで、幸い当院においても1例の入院患者も認めませんでした。

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

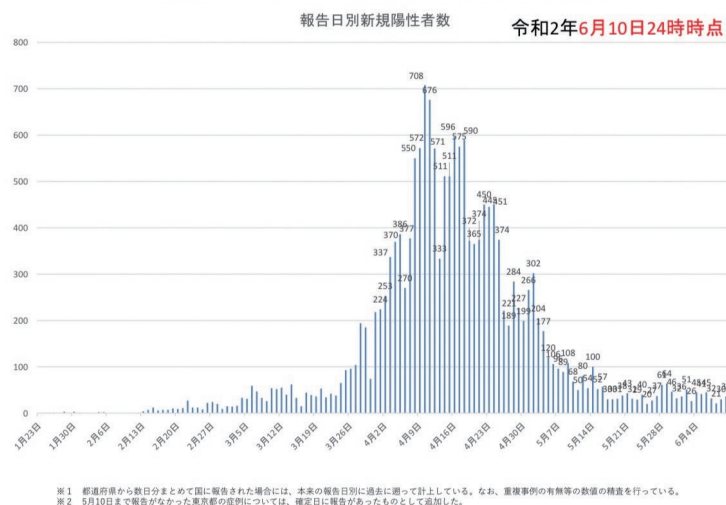


図1

症状	新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だらだら続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳	◎	◎	◎
咽頭痛	○	◎	◎
息切れ	○	×	×
だるさ	○	○	◎
関節痛 筋肉痛	○	×	◎
頭痛	○	◎	◎
鼻水	△	◎	○
下痢	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ	×	◎	×

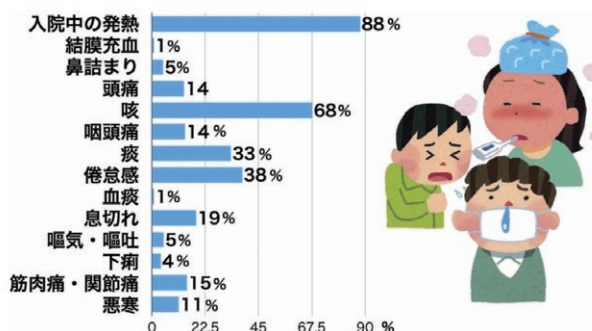
新型コロナと風邪、インフルエンザとの症状の比較（オーストラリア政府啓発資料より）◎：頻度高い、○：よくある、△：ときどきある、×：稀

図2

COVID-19に関しては、まだまだ不明な点も多いですが、現在までにわかってきている特徴などをまとめてみます。

COVID-19の初期症状は風邪やインフルエンザと似ていて最初は区別をするのが非常に困難です。若干それぞれの特徴があり、COVID-19と風邪、インフルエンザの症状とを比較したものが図2です。

COVID-19では発熱・咳・だるさ・食欲低下・息切れ・痰・筋肉痛が典型的な症状となります（図3）。



新型コロナウイルス感染症の症状の頻度
 （中国での1099例の報告より DOI:10.1056 / NEJMoa2002032）

図3

経過としては、発熱やだるさなどの風邪症状で軽快しますが、その後に咳や痰の呼吸器症状が現れ、重症になれば呼吸困難や胸部圧迫感、意識が朦朧とするなどの症状が現れます。次の図4のように、まず風邪症状が現れ8割程度はこれで軽快しますが、2割程度の方は肺炎症状を起こし、さらにその一部の方が重症（人工呼吸器が必要な状況）となるとされます。

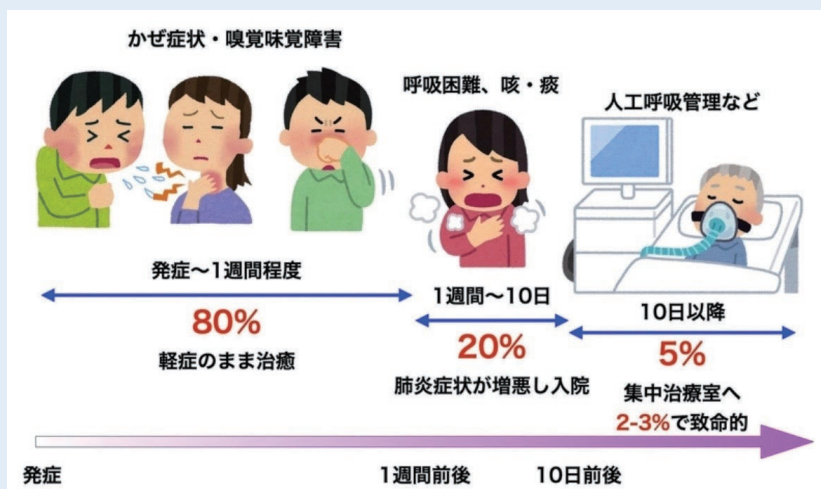


図4 (新型コロナウイルス感染症診療の手引き(第1版, 厚生労働省)より引用)

重症化しやすいのは高齢者と持病のある方です（図5、6）。

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

令和2年6月10日18時時点

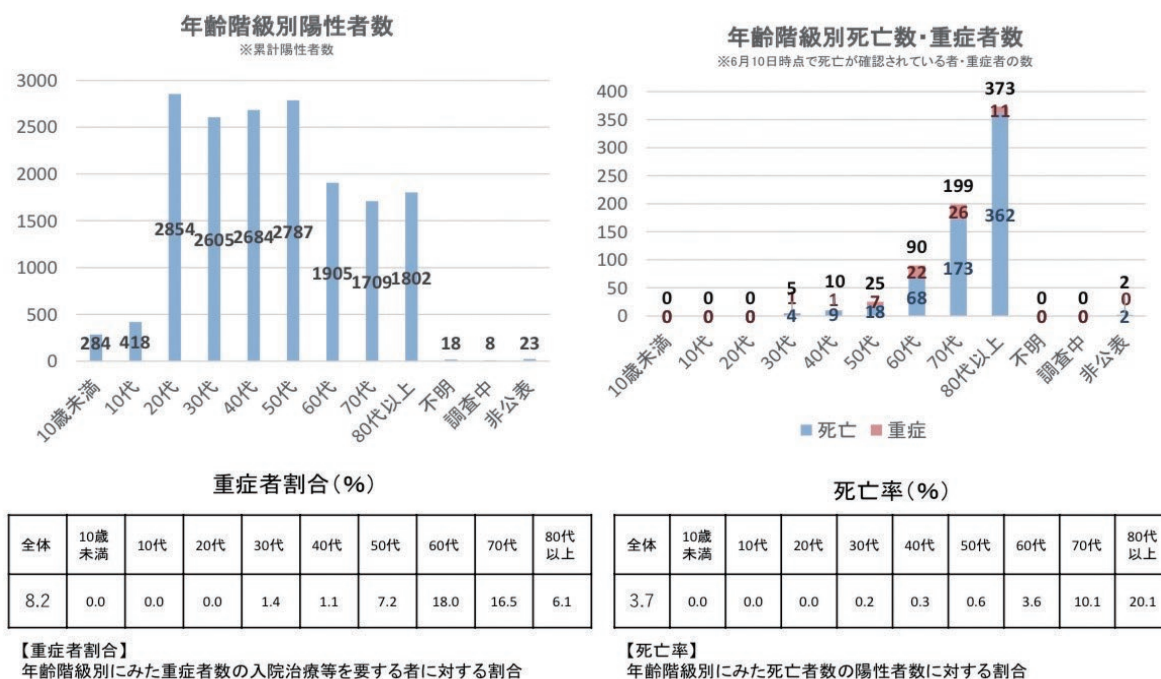


図5

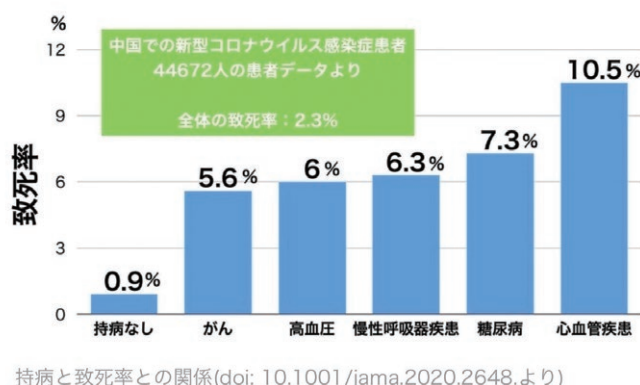


図6

当院において

禁食「0」を目指して ～食べる喜びをあきらめない～

をテーマに講演会を開催しました!!



待ちに待った2020年1月10日（金）にNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」にも取り上げられた「NPO法人 口から食べる幸せを守る会」理事長の小山珠美先生をお迎えして講演会が開催されました。

小山先生は、KTバランスチャートを使って評価を行い、口から食べることの大切さについての普及・啓発活動に加えて、よりクオリティーの高い食支援ができる人材育成を図っておられます。各地から講演会を依頼される、多忙な小山珠美先生です。

現在当院では、言語聴覚士を中心に入院早期に患者さんの嚥下評価を行い、少しでも早く経口摂取できるように援助を行っています。しかし、早くから食事が再開できる患者さんばかりとは限りません。

そのような中で小山先生の実技指導を受けることができました。病棟ラウンドでは、看護師が食事介助に苦慮している患者さんに会って頂き、クッションなどを使用した身体の整え方、



病棟ラウンドの様子

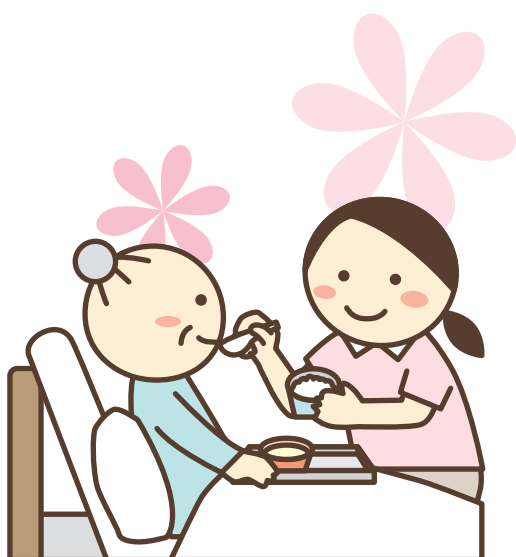

実技指導の様子

介助のスプーンの運び方など丁寧に指導を受けました。

姿勢を整えることで患者さんから「食べやすくなった。」という声が聞かれました。日頃はプリン1個を間食するのに30分かかっていた患者さんが、指導の下姿勢を整えると5分程度で完食され「おかわり」と笑顔で言われた時には、私たちは小山マジックと驚きを隠せませんでした。

また、講演会には近隣の医療職の方々も含め138名の参加がありました。小山先生から、食べる事を最期まであきらめない姿勢が大切であること。「禁食0」を目指すには医師の指示だけでは成立しない。技術とチーム医療、早期治療、早期経口摂取が重要であることを熱く語られました。

これからも、私たちは入院患者の皆様へKTバランスチャートを使って評価を行い、口から食べる事を大切にして、食支援の技術をみがき「禁食0」～食べる喜びをあきらめない～に向けて取り組みを進めてまいります。


講演会の様子

✿ 特定行為看護師についてご紹介します ✿

特定行為看護師とは、2015年に厚生労働省が施行した「特定行為に係る研修制度」によって誕生した看護師の新たな名称です。看護師の業務には、「診療の補助」と「療養上の世話」があります。「特定行為に係る研修制度」を修了し、特定行為看護師となる事で、これまで医師の直接的指示のもとに行ってきた「診療の補助」を「手順書」によって実施する事が可能となりました。医師の直接的指示を待たずに、必要なケアを「手順書」を用いて提供できることで「タイムリーなケアの提供」が可能となります。この他にも、特定行為看護師には、「チーム医療の推進」や「在宅医療の推進」などの役割が期待されています。

日本赤十字社長崎原爆諫早病院では、2019年10月に1名の特定行為看護師が誕生しました。特定行為看護師としての期待に沿えるように、研鑽を重ねていきたいと考えます。

研修が修了した特定行為 (2020年4月時)

◆ 呼吸器 (人工呼吸に係るもの) 関連

- ・ 侵襲的陽圧換気の設定変更
- ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
- ・ 人工呼吸器からの離脱

◆ 呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連

- ・ 気管カニューレの交換

◆ 動脈血ガス分析関連

- ・ 直接穿刺法による採血



特定行為看護師：吉田光浩

・ ご挨拶 ・

私は2012年に慢性呼吸器疾患看護認定看護師を取得し、呼吸器に関する専門的な知識を得た上で、呼吸の障害により身体やこころに苦痛を抱える患者さんやご家族のケアに取り組んできました。患者さんやご家族により良いケアを提供するためには、私のみが実践するのではなく周囲の専門性をもった医療スタッフとの連携が重要であり、「チーム医療の充実」が課題と考えます。特定行為に係る研修制度で学んだ知識や技術を活用し、チーム医療の一員である看護師の立場から患者さんやご家族のケアの充実に貢献していきたいと考えます。特定行為の実施にあたっては、医師と連携し、患者さんへの説明と同意を得た上で実施していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

…ご案内…

日本赤十字社長崎原爆諫早病院では、
特定行為看護師が活動しています。

看護師の特定行為とは
看護師が「手順書」によって、一定の診療の補助を行う行為を「特定行為」といいます。看護師の特定行為は21区分38行為があり、厚生労働省が定める研修施設での研修及び実習を修了した看護師のみが実施できる行為です。特定行為に係る看護実践の目的は、「タイムリーなケアの実施」、「在宅医療の推進」、「チーム医療の促進」などがあります。
(厚生労働省ホームページより一部を引用)

当院には、特定行為の研修を修了した看護師が勤務しています。
日本赤十字社長崎原爆諫早病院では、以下に示す、看護師の特定行為研修を修了した看護師が勤務しています。医師や看護師、その他のケアに関わるスタッフと協力し、患者さんやご家族の支援に努めています。

＜実施可能な特定行為＞
～2020年4月時～

- ・ 「人工呼吸器の設定変更」
- ・ 「人工呼吸器からの離脱支援」
- ・ 「人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬投与量の調整」
- ・ 「気管カニューレの交換」
- ・ 「動脈への直接穿刺法による採血」

特定行為の実施においては、事前に患者さんへ説明を行います。特定行為へのご理解とご協力をお願いします。
ご不明な点につきましては、以下にお問い合わせてください。

特定行為看護課についてのお問い合わせ先
日本赤十字社長崎原爆諫早病院 看護課
Tel. 0957-43-2111 (内線)

実績報告 (2019年10月以降の支援状況、毎月の実施や評価を含みます)

- ・ 気管カニューレ交換：10例
- ・ 人工呼吸器の設定変更：6例
- ・ 人工呼吸器からの離脱支援：4例
- ・ 直接穿刺法による採血：0



院内には、ポスターを掲示し、特定行為看護師を紹介しています。

みなさま、お気軽にお声かけください

追伸、現在、1名の看護師が「特定行為に係る研修制度」を受講中です。今後とも、特定行為看護師をよろしく願います。

人間ドック新規オプションが追加されました

アミノインデックス 血液検査

1回の採血で三大疾病を評価*

さらに4年以内に「糖尿病」を発症するリスクも評価します



*現在がんである可能性、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスクを評価します。
※脳卒中と心筋梗塞は、2つ合わせてAILS(脳心疾患リスク)として評価します。

MCIスクリーニング検査 血液検査

少量の採血で 認知症の早期発見に役立つ スクリーニング検査

認知症の発症リスクを知り、適切な対策を行うことで認知症の発症を遅らせたり予防するために役立てることができます。

他、

血圧脈波検査

(血管の硬さや詰まりを調べて血管年齢を知ることが出来る)

48種アレルギー血液検査

子宮がん検診+HPV検査

(子宮頸がんの原因となるHPVに感染していないか)

s-dLDL血液検査

(動脈硬化を起こしやすい超悪玉コレステロールの検査)

がございます。

詳しくは 当院健診部(TEL:0957-27-2127)へお尋ねください



ホームページを リニューアルしました!

日頃より諫早日赤病院のホームページをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、パソコンの他にスマートフォンからでも快適にご利用いただけるモバイル対応のホームページにリニューアルしました。

ご利用の皆様にとって、より使いやすいサイトを目指してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



お礼

新型コロナウイルス感染症対策のための
面会制限や検温・問診などへのご理解・ご協力、
誠にありがとうございました



日本赤十字社長崎原爆諫早病院

外来担当医一覧表

○印の医師は新患担当兼務、その他医師は予約の患者さんが優先となります。令和2年5月31日付で志垣医師が退職しました。

令和2年6月1日現在

	診察室	月	火	水	木	金
内科外来 午前 受付 8:30~11:00	1	○宮下 律子 (呼吸器)	○赤城 和優 (呼吸器)	○近藤 晃 (呼吸器)	○藤本 真澄 (消化器・肝臓)	○加治屋 勇二 (消化器・肝臓)
	2	福島 喜代康 (呼吸器)	長尾 正一 (循環器)	福島 喜代康 (呼吸器)	福島 喜代康 (呼吸器)	赤城 和優 (呼吸器)
	3	近藤 晃 (呼吸器)	江原 尚美 (呼吸器)	森田 十和子 (糖尿病)	宮下 律子 (呼吸器)	江原 尚美 (呼吸器)
	4	田崎 洋文 (循環器)	猪口 薫 (消化器・肝臓)	長尾 正一 (循環器)	猪口 薫 (消化器・肝臓)	長尾 正一 (循環器)
	5	藤本 真澄 (消化器・肝臓)		加治屋 勇二 (消化器・肝臓)	田崎 洋文 (循環器)	
内科外来 午後		禁煙外来 福島、江原 近藤、赤城 (13:30~14:00)	呼吸不全外来 福島、江原 近藤、赤城 (13:00~15:30)			
			※第2、第3週の火曜日は呼吸器疾患の講義 (13:30~14:00)			
	ドック 総合判定 (13:30~14:30)	金子 加治屋／猪口	金子 近藤／加治屋	金子 長尾／猪口	宮下 江原／赤城	金子 田崎／藤本



日本赤十字社 長崎原爆諫早病院

Japanese Red Cross Society

受付時間 午前8:30~午前11:00

※当院は紹介状なしでも選定療養費のご負担はありません。

休診日 土・日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

日本赤十字社創立記念日(5月1日)

〒859-0497 諫早市多良見町化屋986番地2

病院代表 TEL 0957-43-2111 FAX 0957-43-2274

医療連携室 TEL 0957-27-2311 FAX 0957-43-2870

訪問看護ステーション TEL 0957-47-6344 FAX 0957-47-6399

ホームページ <http://www.isahaya.jrc.or.jp/>

